1stアルバム『Wakana』リリース!
そして全国7都市ツアー、スタートへ!

and more!!!

Kalafina Harmony Magazine
2019 Spring #07and08

1stアルバム『Wakana』リリース！
そして全国7都市ツアー、スタートへ！

Contents

Staff

Photo ⇒ 高宮紀徹 (67531graphics)
Art Direction ⇒ 鶴羽高章
Text ⇒ 大西智之
Edit & Text ⇒ 芳崎志保

Wakana Special Interview

ついに発売された1stソロアルバム『Wakana』。
自らの名前を冠した記念すべき作品に込めたWakanaの想いとは——。
初めての経験や挑戦を注いで作り上げた今作について、たっぷり語ってくれた。
アーティスト写真のアザーカットやメイキングフォト、そしてインタビュー風景と共にお届けします。

Text→ 大西智之

Wakana Special Interview

自分も6曲の作詞をしていたり、私のことを思って書き下ろしていただいた曲と詞がこんなにもあって。
そういうものを全部引っくるめて、想像も及ばなかったくらいに自分の色を残せたなって思えたんです。
さらに、それをこれから一生歌っていくんだっていう嬉しさを感じて、『Wakana』にしました

◆ソロ1stアルバム完成、おめでとうございます!

「ありがとうございます!」

◆2月10日・お台場ヴィーナスフォート教会広場、2月11日・神戸ハーバーランド スペースシアターでリリース記念フリーライブも行なわれましたが、あの時はまだレコーディング中でしたよね?

「歌録りに関しては、最後の1曲を残すのみだったんです。だから、先が見えていたというか、もうすぐ終わりという気持ちでいられましたし、フリーライブに集中できて、楽しめました」

◆アルバムが形になったな、と実感できたのはどのタイミングでした?

「今回、TD(=トラックダウン)から制作の最後の作業になるマスタリングまで立ち会わせていただいていて、そのマスタリングが終わった時に実感できました。パズルのピースだった1曲1曲が組み上がった気がそこでして、これでできたんだ、って。変な感じなんですけど、その時、曲たちに"お帰り"って思ったんです。それまでは、曲がいろんなところに行っていた気がしていたし、私も曲単位で向き合って作業していたから、いろんなところに出かけている感覚だったんでしょうね。だから、お互いに集結して"お帰り"って湧き上がったんだと思います。それから数日経った今、完成させたアルバムを頻繁に聴いているんです。そうやって過ごしていると、やっと作品全体で捉えられるようになって、段々と印象が変わってきていたり。この曲間はもう少し長かったほうがよかったかな、と思ったり。また違った視点で向き合えている気がします」

◆その体験には、今後に繋がるフィードバックがあるんでしょうね。ちなみにレコーディングが終わってから自分にご褒美的なことはしましたか?

「神戸牛を、神戸のフリーライブから帰る新幹線の中で食べましたけど、あの時はまだ終わってなかったですしね……シュワシュワする飲み物を飲みました、ビールは飲めないんで別のものですよ。あと、赤い色の飲み物も、ポン! と開けましたね(笑)。一息ついて、自由だぁ、と思ったんですよ。先日、ある女性アーティストさんのライブに行ったんですね。その方は数年ぶりのツアーで、充実した時間を過ごしているとおっしゃって、でも、同時に、風邪が怖かったと。毎朝起きて喉がピリっとするのが一番怖い、でもこの想いからツアーが終わったら解放される、って。その気持ちが痛いほどわかります! ヴォーカルレコーディングは、2月12日までの1ヵ月弱の間に10曲でしたから」

◆全11曲収録ですから……ソロデビューシングル曲「時を越える夜に」以外ですね。

「はい、そのカップリングの"翼"はライブバージョンでしたから、アルバム用にスタジオレコーディングをしているんです。で、短い期間、というのは私に合っていたし良かったんです。昨年から楽曲制作してきて、その中から選んだ10曲を1ヵ月弱という期間にヴォーカルレコーディングするというのは、今までで最高に密度が詰まっていたし、いろんなタイプの曲に向き合いながら、次から次へと多くのことを考えて、それを歌で表現できましたから。その分、本当に集中していたんですよ。フリーライブは別として、期間中はレコーディングに関すること以外、外出しない。風邪を引きたくないし、体調もベストでいたくて。常に0時に寝たいと思って過ごして、ご飯も自分で作ってしっかり規則正しく生きていたんです。そういうモードもいいんですよ、でもそこからは解放されて、気持ちも切り替わって。今は、ありがたいことに、いろんな取材とか受けさせていただきつつ、その後にライブへ行ったり、友達に会ったり、自分のアルバムを聴いて考えてたり。めまぐるしくやりたいことをやっています」

◆ギュッと集中したところから解放されて、インプットの時期に入ったんですね。

「そうなんです。レコーディング期間中も、帰宅後、日課の読書もしていましたし、映画を観たりもしたのに、不思議とあまり他のアーティストさんの音楽は聴かなかったですから」

◆レコーディング期間に関しては、音楽はレコーディングする曲だけに目を向けていたんですね。そして、"お帰り"と思えたアルバムにご自身の名前をつけたわけですが。

「制作中に散らばっていたものが全部集まって1枚にまとまった時も、私が1曲ずつ向き合ってきた想いと、少し変わったというのが正直な印象で。1枚で見ると、不思議と繋がりをたくさん感じたんですね。振り返ってみれば、自分も6曲の作詞をしていたり、私のことを思って書き下ろしていただいた曲と詞がこんなにもあって。そういうものを全部引っくるめて、想像も及ばなかったくらいに自分の色を残せたなって思えたんです。さらに、それをこれから一生歌っていくんだっていう嬉しさを感じて、『Wakana』にしました。私を知らない人には、私の名前と顔をわかってもらうためにもいいですしね」

◆確かに洋楽、邦楽ともに1stアルバムに自身の名前をつけるバンドやアーティストも多くいますし。Wakanaさんが生んだ歌詞と歌、そして作曲家さんの目から見たWakanaさんが詰まったアルバムでもありますから、ぴったりなタイトルですね。複数の作家さんから曲を提供してもらう、というのはどんな感じでしたか?

「これは今までと変わらない気持ちなのですが、作家さんたちが私のことを思って信じて書いてくださった曲だからこそ、背筋も伸びるし、それをどう歌うかは自分次第ですから。本当に大事に歌いたいという気持ちで挑みました。あと、声に対する印象と期待が形になっているのかな、と思ったんですね。こういうふうに声を感じてくださっているんだな、と思うと嬉しかったです」

◆例えば、1曲目の「約束の夜明け」と2曲目の「翼」の始まっていく感じとか、10曲目「時の音」と11曲目「愛の花」の温かに終わっていく感じ。1枚の中にストーリーがある気がしましたよ。

「そうですよね。それが1枚にまとめた時にピースがハマッて"お帰り"と感じたところなんです。あと、"約束の夜明け"と"翼"は曲間を短くしたんですね。壮大な"約束の夜明け"が余韻を残していくところに、"翼"が勇ましく始まってほしくて」

◆「約束の夜明け」は神秘的な響きを持つ曲で、そのラストが"飛び込んでゆこう 私の全てを懸けて"という未来や始まりを感じる歌ですから、余韻の中「翼」に繋がると……。

「物語が始まっていく感じがしますよね。"約束の夜明け"の後半の部分については歌詞を

Wakana Special Interview

人生ってなんでこうなったんだろう?と思うことってあるだろうけど、
どうするかは自分がひとりで決めることなんですよね。そのいくつもくるポイントで
私は人生や運命って恐れることはない、と思ったんですよ。怖くないぞ! 楽しいぞ! って。

書いている時に、生まれる前の世界を思い浮かべていたんですね。その暗くて、静かな場所に胎児が居て、ティンホイッスルの美しいメロディが響いてくる。そこで、"あっ、光ってる、自分の思い描いている夢が斑で、まだ穴ぼこだらけだから、それを埋めるために私は行かなきゃ"って思う。それが最後"飛び込んでゆこう 私の全てを懸けて"と描いた時に浮かべていた景色なんですよ。だから、このラストの部分ではまだちゃんと目が見えていないような状態、光だけは認識出来るような」

◆夜明けの太陽が顔を出す直前のような風景。

「はい。そしてつながっていく"翼"はモノクロの世界に居て、その灰色に染まる世界を見るのもいい、でも眩しくても、自分の意思で全部置いて行こうと翼を広げている歌詞なんです。例えば、私は空が好きだけど、それは空の色が好きだからですし、モノクロにしたらもったいない。人生ってなんでこうなったんだろう?と思うことってあるだろうけど、どうするかは自分がひとりで決めることなんですよね。そのいくつもくるポイントで私は人生や運命って恐れることはない、と思ったんですよ。怖くないぞ! 楽しいぞ! って。そういう決意みたいなものを"翼"から感じてもらえるだろうし。"翼"は昨年の夏、制作をしている時に、曲を提供してくださった武部(聡志)さんから、自分自身のことを歌うほうが伝わるよ、とアドバイスをいただいて。曲から受けたイメージをお伝えしたら、僕もそれでいいと想うと言ってもらって書いた詞なんですね。だから、すべてではないものの、実はこういうことを思っているんです、っていう詞でもあるんです」

◆では、オープニングのイメージは早い段階からあったんですか?

「それがまったくなくて。"約束の夜明け"は櫻井美希さんが作曲してくださったんですが、何曲かあったデモの中の1曲なんですよ。私、この曲好きだな、と思っていて、選曲の段階でリストに入った時、これは1曲目だとおぼろげに思ってはいたんですけど、曲順を決めたのも最後のほうで。しかも最初に挙がった案は別でしたから。でもその頃には個人的に、1曲目、2曲目は今の流れにしたいな、と決めていたんですね。そういう時系列でしたし、それに書き始めたばかりの私には、メロディから受ける景色や想いを歌詞にするだけしかできないですし、作詞段階では1曲目が、とか考えてなかったんです」

◆曲に導かれるまま歌詞にしたら、曲調的にも、言葉的にもこの2曲がオープニングにぴったりなものになって、しかも繋がったんですね。あと「約束の夜明け」は、後半で"いく"に当てられた漢字が使い分けられていますよね。"美しいまま逝けるの?"と"一歩ずつ行ければいい"という。

「前者は、私が思い浮かべていた胎児には前世の記憶が少しあって、記憶の中の大人の自分は嘘とか偽りがある世界に生きている。その全部を隠せば、私は生まれて死ねるの? 綺麗なほうがいいのかな?と問うてる箇所なんです。でも、死ぬという表現はあまりにも哀しくもあり、とは言え、すべての生き物にとって生まれた瞬間それは決まっていることで。ここではネガティヴに捉えてほしくなかったですし、"逝く"と言い表わしました。後者は生きて進んでいくという気持ちなので、"行く"を当てています」

◆なるほど。あと歌詞の"斑な夢"という表現も素敵です。

「夢はいっぱいあるんだけど、穴が開いていて、順番も決まってないんですよ」

◆そこには無限の可能性があるだろうし。

「できることをまだ知らないから、これから生まれて生きる中で見つけていく。それが、生まれる世界なんだ、っていう。それと同じ内容のことを"翼"の中で天使が言っているんです」

◆その天使の言葉は"「生まれた瞬間 生きて行くと決めたのでしょう?」"というラインですね。

「そうです。だから、"約束の夜明け"から"翼"へ続けたかったというのもあるんです。これも、詞を書いている時は意識してなかったのに、後々アルバムを作品として俯瞰で見ることができた時に繋がったんですよ。詞を書くことで、今の自分を知るという経験はたくさんするんですけど、この2曲の共通したラインも私は今こういうことを考えているんだな、と思ったことでした」

◆今の自分を知るというのは、作詞する中でのいいフィードバックですね。そして、スローで温かい世界を持つ「流れ星」はWakanaさんの作詞です。楽曲が届いた時、どんなことを感じました?

「和な感じがしたんです。そして、波の上で揺れているボートに乗る2人を浮かべました。だからラブラブなんだな、と(笑)。甘い感じにしてしまおう、ってことで詞を書いたんですよ。そういうのいいな、と思っていた時期だったんでしょうね(笑)」

◆歌の響きに、平穏な幸福感を感じました。

「私の中でお眠りソングなんです、特に2番をそうしたくて。そこが平穏と感じるところだと思いますよ」

◆2番のAメロの"すませば"と"波音"の歌声の抜きが柔らかで、Wakanaさんが言う、おねむり感、平穏さがそういう歌の細部に出ている気がします。

「はい、挙げてもらったのはメロディの柔らかさを伝えるために書いた言葉なんですよ。どの曲も歌詞と曲は一緒に響かせるものですしどちらも大切。でもメロディをいかに伝えるか、そのための言葉だと思って私は歌ってきましたし、そこは梶浦(由記)さんの曲もそうで、ずっと変わらないんです。だから私が作詞したものは、書いている時からメロディをいかにお伝えするか、を考えていました」

◆2番Bメロの"今すぐ抱きしめて"の"今"と"抱"の丁寧にそっと置くようなヴォーカルのアタックは幸福なまどろみの中での弾む心を思わせたり。ラストのサビの"願い事"の質感や最後の"囁くように"の"よ"の音がポンと高音

に弾ける感じとか、全体の柔らかさの中にも表情を感じる繊細な歌だと思いましたよ。

「最後の"よ"の音、かわいいですよね（笑）。その前にある"願い事"というフレーズは、恋人の2人の間に見えないけどあるもので、それがふわっと聞こえるという印象を持っていたから、"願い事"と歌う時もそういうイメージを浮かべていたんですよ」

◆自分で描いた歌詞だからこその表現とも言えそうですね。

「そこに自分で描く意味があって、より自由な歌になるんですよね」

◆こういう、この音符をどう表現するかというところまでいき届いた歌の繊細なニュアンスでの表現は、ソロシンガーのものだな、と。ハーモニーとは違うなと思いましたよ。

「そうなんですよね、ハーモニーって自分だけで成り立つものじゃないから。主旋律を歌う人の想い、楽器の人の想い、作った方の想いがあって、それらが一緒になってメロディラインを走っていくということなんです。だからハーモニーを歌うのは、合わさった時の響きが重要で、それをいつも考えてたんです。ソロではその響きを単体と捉えて、想いを込めていく。それは新鮮でおもしろかったですよ。あっ、あと"流れ星"ではティンシャとレインスティックを私が演奏しています（笑）」

◆はい、曲に彩りを添えてますね。

「"聴こえる波音"の箇所でレインスティックを使っていて、これは雨が降る音を演出する楽器なんですね。この波音をイメージする音を出すための加減が難しかったんです。ティンシャは澄んだ余韻が素敵でした」

◆歌が連れてくる感情が曲を彩ったと言えば、「記憶の人」もそうですよね。

「"記憶の人"は詞曲を書いてくださった安藤裕子さんの仮歌から素敵だったんです。そこから見える景色があって。だから私も、具体的に主人公を思い浮かべながら歌ったんですよ。それでもやっぱり難しくて。まず歌のレンジが広いですよね。でもこの歌に挑戦をすることで絶対広がるってわかってたし、そういう意味でも挑むのは楽しかったです」

◆トライも楽しいんですね（笑）。レンジという意味では、Aメロの後半にくる低音。しかも、迫力を出さない柔らかな響きです。

「この低音は苦戦しました。エアリーな声にしたいというイメージがありましたから」

◆Bメロは少し声を絞っている感じもしたんです。

「Bメロはヴォリュームを少なくしたかったんです。この曲は最後の1行の"いつかこの場所で抱きしめてと願う"にピークを持っていきたくて。それで、この最後の部分にはハモりを入れたんですね。結果、世界観を広げた気がしてお気に入りです。"いつかこの場所で"って何度も繰り返している中で、最後に広げられたからこそ、女々しく感じない曲になったというか。それを表現したかったんですね」

◆だから、離れている人を思いながら待つ世界観でありながら歌に母性というか、いつでも帰ってきてね、という懐の深さを感じました。待つ切なさの歌ではないというか。

「力強さと、包み込む想いを感じますよね。それは裕子さんが描いてくださった世界観でもあるし、女性は持っているものだと思うんですよ。きっと男性にもあるでしょうけど、やっぱり女性の母性は強いもので、それを感じた、大好きな曲です」

◆包容力のある大人の女性の歌ですね。そして「Hard Rain」はまた違った種類の大人びた雰囲気を持つ曲です。

「低音から歌が入りますし、少しジャジーで雰囲気のある曲になりました。昨年、矢吹香那さんから"時の音"と同じタイミングでいただいていた曲のひとつなんです。その時からライブ感を感じていて、絶対に歌いたいと思っていたので、収録できたことが嬉しいんです」

◆1番のAメロ、Bメロはゆったりと聞こえて、その後のサビからリズムを感じていくという構成ですが、このノリ感をWakanaさんが歌

Wakana Special Interview

今回は、アルバムがありますし、私の挑戦が詰まった、
ビックリ箱みたいな作品にもなったから。
その曲を歌っていろいろなWakanaを見ていただけるライブにしたいと思います

うのは新鮮な気がしました。

「私も新鮮でした。私の声でやってみるというのは新たな一歩でもあると思いましたよ。作家さんの色ってあって、武部さんが作る音楽性での“翼”だし、矢吹さんと編曲をしてくださった前口(渉)さんの作る世界もあるんですね。そういうそれぞれの方の色が私の歌の可能性を広げてくれたアルバムでもあります。その意味では、同じチームで作ってくださった“時の音”と“Hard Rain”は両極端ですね」

◆アルバム全体を見た時に、Wakanaさんが演じる音楽の広がりを見せるひとつのピースに「Hard Rain」はなっていますよね。

「振り幅は限定しないよ、まだあるよ、っていうね。後々全体像が俯瞰で見えた時にそれは感じました」

◆9曲目に収録の「僕の心の時計」は、8分の6拍子の曲で、ループ感が印象的した。

「作ってくださった武部さんから届いた時に、転調まで含めできていて。ずっと同じフレーズをピアノが繰り返しているメロディに惹かれたんですよ。そこに歌詞をつけたので、その時持ったイメージが出ていますね」

◆だからこそその、進む時間と過去に戻るだけの記憶を軸にした詞なんですね。

「はい。人が思い出を振り返る時って必ず時間は巻き戻る。いつも前を見てその瞬間を生きているから前に進んでいるはずだけど、日常でも覚えている道を歩いたり、前もって考えた予定に沿って動いたり、過去を生きている。だけど時計は前へ進んでいて、前を向いている。そのちょっとした差が不思議で。この不思議さが歌詞になっています。中でも“愛しているも好きも要らない ただそばにいて欲しい”というフレーズがお気に入りで(笑)。ここで変わる感じがね」

◆転調してマイナー調にいくところですね。

「転調に合わせて怖くしたかったんですよ。草食系だったのが、急に怖さが出る。その怖さが垣間見える感じがほしくて、潔く書いたんです。やっぱり好きな人に側に居てほしいと想うし、側に居てくれたら愛しているも好きもそこにあるから言わなくていいの、っていう気持ちってありますよね?」

◆そうだと思います。そして再び転調しますが、その“明日僕が消えても動き続ける時間”で、詞の世界観も戻ると捉えて大丈夫です?

「そうそう。マイナスに引かれて後ろにいっていたけれど、違うんじゃん、大丈夫だと思えた、ってプラスに戻っていく感じです」

◆そして、最後に主人公である“僕”の目線が前に向いて、進む時間とシンクロしていくわけですが、ここは、捕らわれていた想いからの解放にも取れるな、と。

「はい。自分自身が狭めてたんだよ、っていうことに気づいた後ですからね」

◆そう思うと、“君”を何に置くかで世界が変わるなとも思いました。もちろん特定の人でもいいし。未来や希望、夢を当てはめると、何か大切なものを取り戻していく旅にも感じるという。

「確かに、人でなくてもいいのかもしれないですね。“君”を“時計”としてもいいんでしょうね、君にちゃんと触れてなかった、という」

◆そうやって掘り下げていくと尽きなくて。例えば“生まれた頃の時間”も、恋心が生まれた時かもしれないし、僕が生まれた時なのかもしれないし、過去を見つめ始めた時、時間のループの始まり……いろいろ受け取れます。

「ここを“生まれた頃の記憶”じゃなくて、“時間”にしたのは、そのものではなく、周りで動いている時間という動いている見えないものを探している、ということなんです」

◆そういう感覚的なところを言葉で捉えた詞だから、奥が深くて、いろいろ妄想したくなるのでしょうね(笑)。次に、先ほども少し挙がった、「Hard Rain」と同じ作家陣による「時の音」の話を。スローな曲で、ブレスまで歌になっている、丁寧で人の温もりがある歌ですね。

「いただいた時、温かくて素直な世界だなって思えて。隣りに居てあげるよ、という想いが綴られているんですが、でも素直に伝えられなくて、それを“太陽になりたい”って表現したところが素敵です。自分が書くようになったからこそ、人の心に寄り添う歌詞だな、とより強く感じました」

◆恋人や友達に向けてと取れるけれど、歌も含めた曲として、子供に向けたような無償の愛に近い、包み込む温かさを感じました。

「女性の描く世界ですよね。いろんな世界観を私もこれから歌わせてもらうと思うんですけど、温かくて暖色のものに惹かれるというのはあると思います」

◆声も温かいですよ。1番Aメロの“眠れる夜は”の低音の響きとかね。

「ここは癒したいな、と思っていた部分です。歌は、流れを大事にしたくて。この曲のサウンドプロデュースをしてくれた周水さんにも“曲頭から最後まで、その瞬間瞬間のWakanaちゃんが大事”と言われて、頭から通して歌ったんです。テイク数も極力少なくして、同じテイクの歌をほぼそのまま使っているんです。レコーディングのブースに入る瞬間まで、“眠れぬ”が低いかもしれないです、って不安を言ってたんですけど、“記憶の人”を歌うことを考えたら、自分で狭めたら駄目なんだとも思えて。歌ってみたら、それが私の曲になり

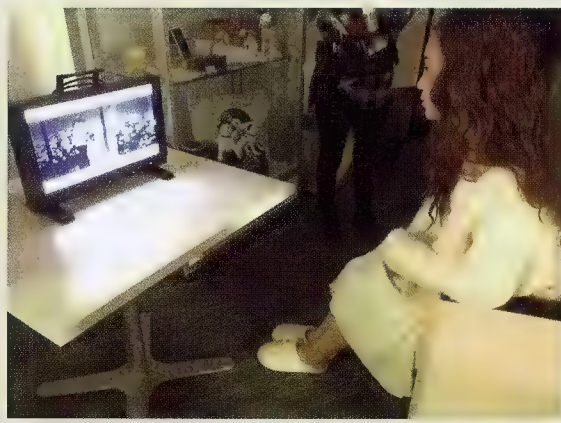
ました。だから、不安なんて考えなくていいな、って思えた曲でもあります」
◆とても大切な気持ちの変化ですね。
「これがヴォーカルレコーディングの2日目だったんですね。"瑠璃色"と"愛の花"を歌った次の日。レコーディングへの思いもひとつずつ、着実に積み重なってきている時でした」
◆そして、「時の音」は"太陽になりたい"という温かな無償の願望で終わるのも、次の曲「愛の花」に繋がっていく気がして素敵でした。「愛の花」はアルバム最後の曲でもありますし。
「"愛の花"は周水さんとStefan Åbergさんの合作曲で仮歌が英語だったんですね。それもあったし、静かな曲だし、いただいた直後は自分の声でどう表現したらいいのかなかなか見えなくて。悩んだ1曲でもあるんです。この曲自体の最初の印象は、かわいいな、だったんですね。その後、石川絵理さんが歌詞を書いてくださって、上がったものを目にした時、最初は悲しい歌詞なのかな、って。この主人公には、うぶというか無垢な心があって哀しみに押しつぶされそうになっているのかな、でもいろんな経験をしていく中で、見えるものはひとつじゃなくていいんだね、じゃあ私は生きていけるって、思えたんだろうな、と感じたんです。その時に、絵理さんにも私が感じた無垢なイメージがあったのかな、と嬉しくなって。それにちゃんと私が歌うことに意味があると思えたから、臆せず進んでいかなきゃ、と気持ちを切り替えて向き合いました」
◆奇蹟のように心に降りてきたあなたが、あの空へと還っていったという中での心情ですから、悲しいともとれますね。でも、イントロやサビの前半の弦の跳ねた音色や、そのサビの前半の歌のニュアンスから、澄んだ光の粒が弾けているような印象も受けましたよ。
「確かに光がふわっと舞っている感じはありますね。"穢れを知らぬ粉雪"は、寒い時期に歌うとしっとりとしていいなと感じたし、"薄紅色の花びら"は春を感じさせてくれるし、綺麗な曲になったと思います」
◆"私は生きてく 生きていきます"という最後の言葉を、クリアーなトーンで、さらに、ふわっとした余韻を声で表現したからこそ、未来に繋がる希望で終わった感じがしました。
「"生きる"という言葉は、意味的にストレートで、少し重たくもなるものではありますよね。でもこの曲では重くしたくなかった。自分の声で軽さを足して、でも軽々しく言ってる想いでもない、という、すれすれのニュアンスが出したかったんです。グッと力を入れて決めた決意の"生きる"じゃなくて、普通に息を吸って吐いて、生活している中での言葉として私は捉えていたんでしょうね」
◆ふっ、とした温かな希望に包まれてアルバムが帰結する素敵な終わりだと思います。
「この最後の"生きていきます"は、歌詞をいただいた時"生きていくから"だったんです。それを親しい方がアドバイスしてくださって、絵理さんにも想いを汲んでいただけて。次に繋がっていく感じがでましたよね。"生きていくから"という、自分に言い聞かせている言葉ではなく、歌うたびに、"生きていきます"とすっとその当たり前の想いを置いていく歌になりました」
◆……というアルバムがみなさんの元に届いて、その先4月から5月にかけて、全国ツアーがスタートしますね。
「昨年の秋のツアーも楽しかったんですけど、あの時はまだ自分の曲が少なくて。その分、MCが多かったんですね。今回は、アルバムがありますし、私の挑戦が詰まった、ビックリ箱みたいな作品にもなったから。その曲を歌っていろいろなWakanaを見ていただけるライブにしたいと思います」
◆札幌から福岡まで、いろんな場所に届けにいくことになりますね。音楽以外で、ツアー先で楽しみにしていることはありますか?
「やっぱり食べ物です(笑)。前号の会報でみなさんに各地のお薦めの場所や食べ物を募集させてもらったので、その場所を巡りたいです! いただいたお一人おひとりに想いがあるな、って思ったんですよ。例えば大阪なら、一番の名物をってことで、"お好み焼き定食"とか"たこ焼き"を薦めてくださる方もいましたし、名物だけじゃない、っていう個人的なお気に入りのお店を推薦したおハガキもいただけて。私は、道頓堀にも行ったことがないですし、グリコの看板もテレビでしか見たことなかったりするから、王道のところも、地元の方ならではのところもできる限り足を伸ばしたいですね」

◆出身地の福岡もきっと変化していて、Wakanaさんが知らない場所もあるでしょうしね。
「そうなんです。帰るたびに、これ最近うまいんよ、って友達が新しい何かを教えてくれるんですね。そういう場所が各地にあるでしょうから、この先もずっと楽しいですよね。日本中の県でいろいろな楽しさが待っていますから。今回も音楽をお届けして、来てくださった方の想いと、まだ知らない素敵な景色、食べ物も受け取っていきたいですね」
◆今回のアルバムにも、風景や空の景色がたくさん描かれているから。各地で新しい空を見るだけでも、今後の創作に繋がっていくかもですよね。
「ねっ! そう思いますし、なにもかもが刺激です。だから本当に楽しいです」

↑川が透き通ってきれい!

→森の中で木々に囲まれながら撮影スタート!!

Music Video Shooting Making Photo

幻想と現実を行き来するような世界観の裏側をご紹介。
1stシングル「時を越える夜に」のMusic Video制作時のオフショットをお届けします!
Wakanaからのコメントも♬

↑真剣なまなざしで画面を見つめるWakana。

↑高層ビルが立ち並ぶ夜景をバックに撮影。

←足もとに気をつけて…。

↑ボートに乗って移動します。

↑ミニツリーにWakana大興奮!

→スタッフさんに押されて行ってきまーす!

Wakana's Comment

ジャケット撮影は、12月にも関わらず、20℃を超えるというとても暖かい日だったのですが。一転して、MV撮影の日は真冬でした……。MVの中で白い息が見えていますがリアルに歌ってて、寒い野外なんだな～って感じがしますよね。それも“味”という事で(笑)。

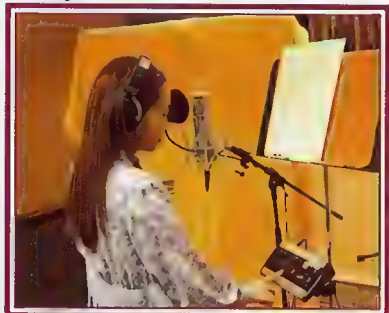
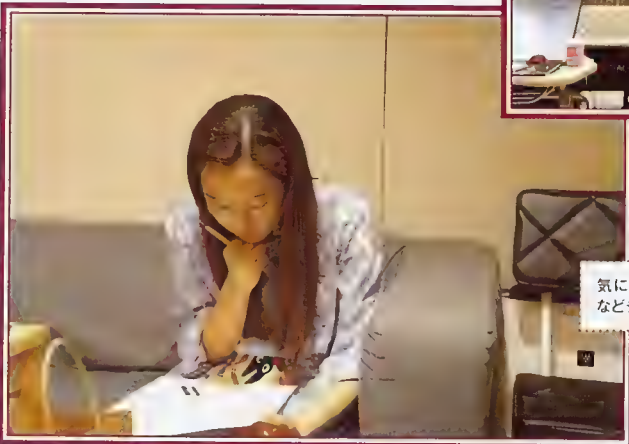
ボートに乗ったシーンは、スタッフさんに“はーい”っとボートを押していただき、“行ってこーい”と言う感じだったので、結構不安でした(笑)。どこまで行くんだろう……と。私は寝ているからわからなかったのですが、普通に流されて漂っていたのかも……でした。この日はずっと曇りがちで、寒くて、小雨も降っていたのですが、ボートのシーンだけはなんと! 晴れたんです! タイミングも良くて、すごく綺麗な映像が撮れました!

MVは、自分が書いた歌詞の曲で、その世界観を映像で表現していただいて。もともと、その歌詞も本当に何もわからないところからスタートしたものなので、まったく自信がなかったですね……。でも、1年をかけてこうやって映像の形になったのが感動です。

1st Solo Album 『Wakana』 Making Photo

1stソロアルバム『Wakana』制作過程をちょっと拝見！
アルバムのレコーディング風景や
ジャケット写真撮影のメイキングショットを。

Scene of Recording

「流れ星」の楽器をレコーディング中。Wakanaはティンシャ（写真）とレインスティックを担当。

レコーディング終了！ "はい、ポーズ！"

気になるところ、歌い方などチェック中。

Scene of Album Photo Shooting

初回限定盤Bブックレットのオフショット。外でパシャリ。

チェックの衣装!かわいい!

撮影にぴったりの良いお天気でした。

譜面に書き書きしているWakana。

Wakana's Comment・・・

1曲1曲、バンドさんのレコーディングや作家さんと一緒にトラックダウンに立ち会ったりと、いろんな制作現場を見ることができたアルバム制作でした!

少し心残りなのは、『記憶の人』のバンドレコーディングが、別の歌レコーディングと被ってしまって……立ち会えなかったことですね。本当に素晴らしい出来上がりだったので、なおさら残念でした(泣)。

レコーディングする時は、その日の自分の雰囲気をつかむために、朝、その曲を一度家できちんと歌って、声出ししてから行きます! 今回は1日に2曲録った日もあったり連日レコーディングした日もあったり、大変でした(笑)。喉を使いすぎないようにと思ったのですが、たいして気を付けられず……。ですが、何といってもよく寝た! 特に寝ることを最優先にしてレコーディングに臨んでいましたね(笑)。

Solo Debut Single「時を越える夜に」Release Event Report & Campaign at FUKUOKA Photo

2月10日、お台場・ヴィーナスフォート2階教会広場にて開催された1stシングル「時を越える夜に」のリリースイベントとWakanaの故郷・福岡でのキャンペーンのフォトをお届けします！

まだ冬の寒さが居座っていた2月10日。三連休の中日でもあったこの日は、前日降った雪も止み、ほのかな日射しの差し込むお出かけ日和。お台場・ヴィーナスフォート 2F教会広場には、Wakanaの姿を見たい、歌声を聴きたいというたくさんのファンが詰めかけていた。

「みなさん、こんにちは、Wakanaです」

西洋の教会を模したステージの中央の扉からWakanaが登場して、その明るい声で挨拶をすると、大きな歓声と拍手が上がる。

「今日はここでみんなに会えるのを楽しみにしてきました」と、うれしそうにフロアを見渡す。

「この曲は昨年8月に、初めてのオーケストラとのコンサートで初お披露目しました。私が初めて作詞をした曲です」「歌詞を書くのは最初はすごく難しかったんですけれど、歌ってみるととても気持ちのよい曲になったなと思っています」

という言葉に続いて、まずは記念すべきソロ・デビューシングル「時を越える夜に」を披露。

青い照明に照らされる中、Wakanaの歌声がなめらかに滑り出すと、その瞬間にざわめいていた空気がシンと静まる。ゆったりとした大きなフレーズを、しなやかで透明感のある歌声で堂々と歌い上げる姿は、凛として美しかった。

2曲目は1stソロアルバム『Wakana』から「瑠璃色の空」を届けてくれた。AORテイストの落ち着いたサウンドアレンジに包まれながらノスタルジックなメロディラインが流麗に紡がれる。これまではあまり聴くことのなかったふくよかな中音域とエアリーな低音が心地よく響く。MCでは、昨年のツアーの思い出を振り返りながら、シングルのカップリング曲として収録している「翼」のライブバージョンについて説明。この曲の歌詞もWakana自身が手掛けており、「等身大の自分の気持ちを込めた歌詞なので、ちょっと恥ずかしい気持ちになります」と照れくさそうな表情を見せながらも、「春のツアーでまた皆さんに会えることを楽しみにしています。では最後の曲、聴いてください」と「翼」へ。爽やかなグリーンのライトの中、情熱的なフォルクローレ風サウンドが鳴り響く。Wakanaの放つ、力強く凛とした歌声に背筋がすっと伸びる。

Campaign at FUKUOKA Photo

RKBラジオ

はい、チーズ!

MUSIC PLAZA

サインを書き書き中……。

〈運命など怖くないと ただひとりで叫んでた〉

ロングトーンの最後の1拍までしっかりと歌いきると、「ありがとうございました!」と深く一礼。集まった人たちを見渡した彼女の表情はとても晴れやかだった。そしてライブ後は、シングル購入特典のオリジナル・クリアファイルのお渡し会を開催。限られた時間の中で、一人ひとりと向き合い、自身の音楽を愛してくれていることに感謝を込めながら言葉を交わしていた。1000名超のお渡しを終えたWakanaが最後に「春のツアー、楽しみに待っていてください!」と笑顔で挨拶すると、ずっと見守ってくれていたファンから大きな拍手が贈られた。4月からのライブツアーがよりいっそう待ち遠しくなる、そんなリリースイベントだった。

Wakanaのおしゃべりコラム Vol.2

今回のこのコーナーでは、Wakanaが
MV撮影とCDジャケット撮影時にWakanaの
カメラ（通称"わカメ"）で撮影した写真たちをお届けします。

Text&Photo by ⇒Wakana

初めての、ソロファーストアルバム。

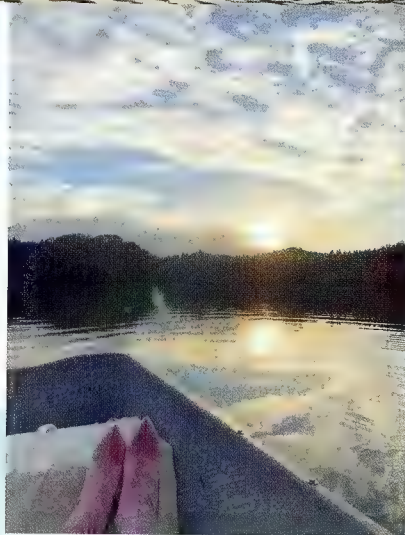
タイトルを「Wakana」にしたのは

たくさんの人に私を知って欲しかったからと

分かりやすかったから。

名前、Wakanaって言うんだ、この人…

そう思ってほしかったからです。（単純）

色んな曲と向き合いながら、色んな想いを抱き締めながら、

レコーディングをした日々でした。

全部ひとつひとつ大切に

その場所から動かさないように

丁寧に丁寧に箱にしまっていくような、

そんな気分で過ごした毎日。

全部しまい終えた時に

『出来たー!!!』と猛烈に叫んでしまいたかった。(いや、叫んだかも)

全部まとめて、皆に聴いてもらう日を今か今かと待ち続けていました。

この箱の中できっとたくさんのわたしが

泣いたり笑ったり、走ったり転んだり、

はたまた叫んでいると思います。

全部皆さんのために歌いました。

…たまに、自分のためにも歌いました(^^)

この箱の中身を聴いてもらえたら

そのあとは一緒に、

みんなで一緒に、

歌いましょう。

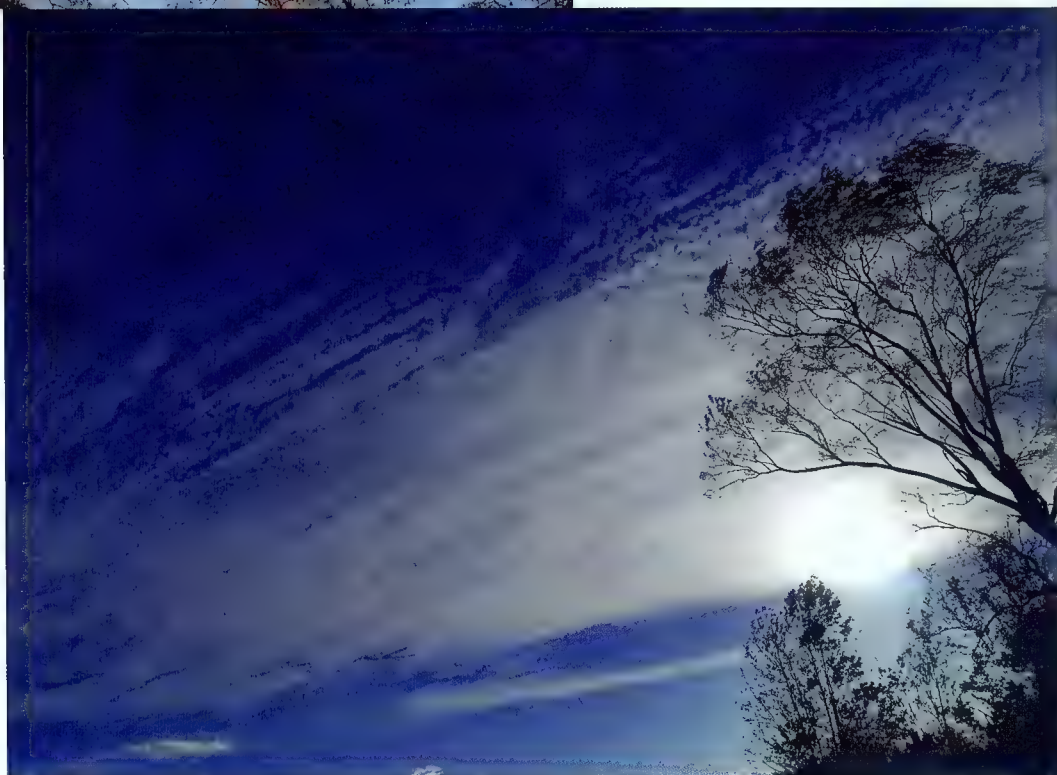
箱の中から溢れてきた音は

ライブ会場に連れてきてください。

その日の音楽に全部、混ぜてしまいましょう。

そうやって音楽を、楽しみましょう。

待ってます。

Wakana

Wakana餃子を食べ歩きの旅
特別編
今回はなんと特別編！ 横浜中華街へ行ってきました！
Wakanaイチオシのお店を皆さんにご紹介しながら、横浜中華街周辺を街歩き♪
in横浜中華街
お店編
中国家庭料理
山東
じゃ〜ん!!
アツアツ!!
特製ダレをつけて…
きます！
あ〜ん
おいしい!!
こちらの特製ダレはココ
ツツがはいっています。
焼き餃子もいただきました！
ぷっくり!!
いきます
が有名！
横浜中華街
王府井
王府井と書いて「わんふーちん」と読みます！
おみやげ
アツアツ!!
肉汁がたまらない…。
むにゅっ
肉汁を吸っち
上を少し開けて
全部
食べたい!!
お店おススメの
りです。
次に小籠包専門店
きました！
籠包もいただいちゃいました。

街歩き編

街ブラしてみましょう♪

あちらこちらから中華料理の香りが! そそられる~! 占いや中国の名産品もたくさん売っていました!

ドリームキャッチャー?

中華街の中にある「横浜関帝廟」に行きました!

お賽銭

ご利益ありますよーに!

おすすめ!

「隆泰商行」は、中国の調味料や名産物がたくさん販売されています。

本堂に到着! Wakanaは何をお願いしたのでしょうか…?

こちらはWakanaもおすすめのお酢とピーナッツ入りのラー油!

楽しかった!

山下公園にも足を運んでみました! 大好きな植物とともにパシャリ!

◆今回は特別編! Wakanaさん、お洋服から気合いが入っていますね。

「今日は餃子が映えるように黒い服できました! いかに餃子をひきたたせるかが大事なので!」

◆横浜中華街に行こうと思ったきっかけは?

「もともとおすすめの水餃子の山東に絶対行こうと思っていて! 焼き小籠包も好きだから、中華街に行くなら王府井も行ってみたいと思いました! 美味しかった~」

◆なるほど。山東はどんなお店ですか。

「初めて行ったのはデビュー当時の頃だったかな。10年前とか。ここはココナッツの味がするけど辛くないラー油があるんです! これにはちゃんと食べ方があって、混ぜずに上にあるココナッツを先にすくってから、後からラー油をとるんです。混ぜちゃうとココナッツがとれにくくなっちゃうので」

◆蓋には「よく混ぜてね」と書いてありますから、これはWakanaさんこだわりの食べ方ですね! 水餃子、美味しかったですね。

「まずスタンダードな餃子はニラが多めで美味しい! もう1つは、緑のセロリ入りで、セロリの香りがしてすごく美味しかったです。あとは桃肌餃子っていうピンクの餃子は見た目がかわいい(笑)。私はやっぱりスタンダードがいちばんおすすめです! そしてやっぱりココナッツラー油がよくて……。水餃子は絶対ココナッツラー油で食べるべきです!」

◆ここのお店で食べるのは初かも?という焼き餃子も食べてみました。

「もしかしたら食べたことがあるかもしれないんですけど、水餃子の印象が強くて……。水餃子くらいぷっくりしている焼き餃子でボリュームがあって美味しかったです! こちらは普通のタレでいただきました」

◆餃子を待っている間にタレを作るWakanaさんの手際の良さが素晴らしかったです! そして次は王府井で焼き小籠包も食べましたね。

「王府井は差し入れていただいたことはあるんですけど、行ったのは初めてです。焼き小籠包って注文するとすぐ出てくるので、私にとって焼き小籠包は"ファストフード"なんです! 焼き小籠包を食べに行こうというより、あ~お腹減ったな~ちょっと小腹にいれるか~的な感じ。私にとってのおにぎり!(笑) 焼き小籠包も食べ方がとても大事です。まずはお箸で穴をあける。中のスープを飲む。そしてかじる! やけどに気を付けてください!」

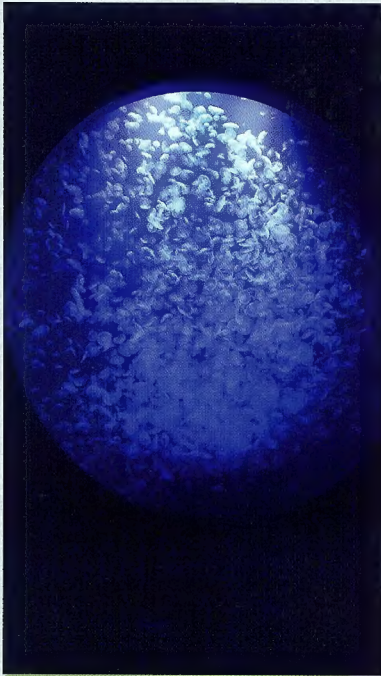
◆最後に、Wakanaさんにとって横浜中華街とは?

「やっぱりココナッツラー油の山東です。山東はぜひ行ってほしい! 私の推しです!」

◆みなさまもぜひココナッツラー油で水餃子を召し上がってみてくださいね!

春の行楽シーズン到来!?
Wakanaにオススメ!! インスタ映えスポットはココ!

Harmony会員アンケート企画 第2弾!

前号では、全国ツアー開催を祝して、ツアーで訪れる各地のオススメグルメを会員アンケートにて募集して紹介させていただきましたが、今回は"Wakanaのカメラ"通称"わカメ"映えしそうなオススメスポットを大募集。各地から素敵な写真を送っていただきました!

ペンネーム:ハラポン
紹介したいスポットは山形県鶴岡市にある「加茂水族館」です。この水族館はギネス認定の世界一のクラゲ水族館で、50種類以上のクラゲを展示しており、その中でも直径5メートルの丸型水槽「クラゲドリームシアター」に約1万匹のミズクラゲ展示は圧巻です!! クラゲ水槽がライトアップされ、とても綺麗です。プラネタリウムならぬ「クラネタリウム」を体感してください!! クラゲに癒されますよ~

Wakana's Comment
一万匹だなんて、想像できない!これは見てみたいですね。ぷかぷか浮かんで気持ちよさそうに泳いでいるんでしょうね……。直径5mなんて迫力満点! ライトアップだなんて素敵ですね。気になります!

ペンネーム:N
まぐろで有名な三崎湾からの海と空の景色がおすすめです。空の写真を撮るのがお好きなWakanaさんにはぜひ行ってほしいフォトスポットです。

Wakana's Comment
三崎湾にこんな素敵なフォトスポットが! とにかく雲がとても綺麗ですね!空の写真が大好きです! 夕日の時でも、太陽の光が水面に反射した時でも、どのシーンでも美しいでしょうね…。

ペンネーム:みすまる
これは、会津若松市にある会津若松城(鶴ヶ城:福島県ではこちらで呼ばれています)です。一年を通していろいろな姿を見せてくれますが、やはり桜の季節が一番です。城塁の一角にこうして桜の向こうに鶴ヶ城がみえるポイントがあります。 来てみて探してみてください。ヒントは「荒城の月の碑」がある近くです。

Wakana's Comment
ちょうどこの季節だと、桜を見ながら向こう側にお城が見えるなんて、見事なアングル! 美しいです。お花見に行かれる方、これは良いアングルで撮れそうです。年に一度ですから、行くなら今しかないですね!

Wakanaの"わカメ"ギャラリー

Wakanaが"わカメ"で撮った素敵フォトをご紹介!

見事なミモザ!!

新幹線からの景色♪

空!

ペンネーム:Big eye
富山県でインスタ映えなもの、といえば美しい景色！ということで、富山市を流れる常願寺川に架かる大日橋（だいにちばし）付近で撮影しました。天気が良ければ、雄大な立山連邦が一望できます！

Wakana's Comment
富山には何度も行ったことがありますが、壮大な景色がいっぱいあるし、海も山もあって自然が素敵な場所ですね！白い雪が山々を美しく染め上げて、とても綺麗です。空気がおいしそう～！ ぜひ"わカメ"にもおさめてみたいです！

ペンネーム:なりっち
2010年3月に鹿児島県にある屋久島を訪れたときに撮影した一枚です。ウィルソン株という名前の屋久杉の切り株の中から空を見上げるとハートの形が見て取れます。1586年、豊臣秀吉の命令により大阪城築城のために切られたと言われているそうです。もののけ姫の舞台のモデルになった場所のひとつです。私が訪れた時も縄文杉までの道中に猿や鹿と遭遇し、本当にコダマたちが住んでいそうな幻想的な雰囲気に心洗われました。また訪れたい場所のひとつです。

Wakana's Comment
ハート形になってる！ 私も屋久島には一度行ってみたくて……。こんなところがあったんですね！ 神秘的でまさにもののけ姫のモデルにふさわしい場所ですね。緑に囲まれて、パワーをもらいたいです。

ペンネーム:コズモジェーナイン
こんばんは、Wakanaさん。今回、紹介するスポットは京都の南禅寺境内の水路閣です！ ここはお寺の境内にある、古代ローマのレンガアーチです！ 良くサスペンスで使われる有名な場所です！ 京都に来られる際にはお立ち寄り下さいね！

Wakana's Comment
サスペンスで使われているんですか!? どんなシーンなんだろう。聞き込み調査をしているシーンとか？（笑） 分からないけど（笑）。古代ローマのレンガアーチ、美しいですね。歴史を感じます。木々も立派なのでぜひここで撮影してみたいです。

ペンネーム:みき きこ
瀬戸内海のアートの聖地「直島」にある草間彌生さんの作品です。この作品と瀬戸内海の穏やかな海に癒されます(^^)♪

Wakana's Comment
草間さんの作品だ～！ 直島は、島自体がアートになっている場所で、まさにインスタ映えスポット！ どこに行ってもすごく素敵なんだそう。このお写真もちょこんと作品があってなんだか可愛いです！ 直島はすごく気になっている場所です！

木漏れ日♥

私の影

これ、何だっけ…？

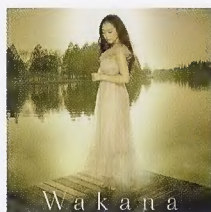
Information Harmony

CD

Wakanaファーストアルバム『Wakana』2019年3月20日(水)発売

(初回限定盤A)CD+DVD
VIZL-1573 ¥3,500+税
・「時を越える夜に」ミュージックビデオ
・「時を越える夜に」メイキング映像

(初回限定盤B)SHM-CD
VIZL-1574 ¥4,800+税
・LPサイズジャケット仕様
・ボーナスディスク(全曲インストゥルメンタル収録)つき2枚組
・高音質SHM-CD仕様
・LPサイズフォトブックレット封入
・ジャケットビジュアルB2ポスター封入

(通常盤)アルバム
VICL-65175 ¥3,000+税

Wakana ソロデビューシングル
『時を越える夜に』
2019年2月6日(水)発売中
VICL-37455、1,200 円+税

LIVE

『Wakana LIVE TOUR 2019 ～VOICE～』

2019年4月4日(木) 18:00開場／18:30開演
【埼玉】飯能市市民会館 大ホール
お問い合わせ:飯能市市民会館 042-972-3000

2019年4月6日(土) 17:30開場／18:00開演
【大阪】NHK大阪ホール
お問い合わせ:キョードーインフォメーション 0570-200-888

2019年4月14日(日) 16:30開場／17:00開演
【札幌】札幌市教育文化会館 大ホール
お問い合わせ:WESS 011-614-9999

2019年4月20日(土) 16:30開場／17:00開演
【仙台】SENDAI GIGS
お問い合わせ:キョードー東北 022-217-7788

2019年4月26日(金) 17:45開場／18:30開演
【東京】中野サンプラザ
お問い合わせ:キョードー東京 0570-550-799

2019年5月4日(土) 16:30開場／17:00開演
【福岡】福岡国際会議場
お問い合わせ:キョードー西日本 0570-09-2424

2019年5月12日(日) 16:30開場／17:00開演
【名古屋】日本特殊陶業市民会館
お問い合わせ:サンデーフォークプロモーション 052-320-9100

チケット料金:全席指定¥7,500(税込)
※未就学児童入場不可※仙台公演のみ1ドリンク代別途¥500必要

各種手続き方法

◆お問い合わせ先◆
Harmonyオフィシャルサイト https://kalafina-fc-harmony.jp/
フォームでのお問い合わせ https://kalafina-fc-harmony.jp/contact
Harmonyサイト下部「よくあるご質問」内⇒「お問い合わせフォーム」からお問い合わせいただけます。
メールでのお問い合わせ support@kalafina-harmony.agent-sk.com
電話でのお問い合わせ 03-3796-8720(平日11時～18時)
◆郵送先◆
〒107-0062 東京都港区南青山3-1-31 NBF南青山ビル6階 スペースクラフト・エンタテインメント㈱ S.C.CLUB「Harmony」宛
※ファンクラブ業務以外のお問い合わせはお受けできませんのでご了承下さい。